

東海4県で行われた実践講座のプログラムの概要について、以下に示します。

(1) 愛知県実践講座の概要

◆ 日時・場所

- 日時：平成15年12月6日（土）13時～17時
- 場所：名古屋国際センター5F 第一会議室
- 参加者数：48人（講師・スタッフを含む）

◆ テーマ

「～What's 国際理解教育？ 私にもできる、あなたにもできる～」

◆ 講座のねらい

- 広く一般市民に対し、開発教育・国際理解教育の普及・促進を図る
- 教育現場を中心に、開発教育・国際理解教育の活用方法を提供する
- JICAやNGO/NPOなどの県内のスキームを広報し、有効に活用してもらう
- 中級者向けの指導者研修受講者がプログラム作りや実際にファシリテーターを経験し、能力向上につなげる
- 開発教育・国際理解教育を学び、活動を充実させるためにネットワークを構築する

◆ プログラム

- 地球と地域の課題は、規模は違っても、その根本は同じであることに気づく
- 今ある課題は自分自身に関わっていることがわかり、自分にできることをやってみようという意識をもってもらおう

★セッション1

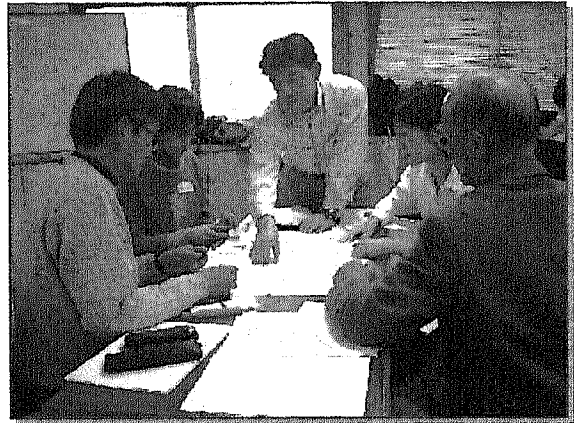
- 1 講座全体の紹介 司会：山口明彦
- 2 主催者挨拶 興梠 康一郎（JICA中部業務課長）
- 3 アクティビティ 何でもバスケット、名刺で自己紹介、
世界がもし100人の村だったら
(ファシリテーター：市川恵、大橋一智、薫森英夫)

★セッション2

- 4 アクティビティ 世界と地域のつながりを考えよう
(ファシリテーター：江口由希子、賀島美恵子、戸嶋啓夫、林泰宏)
- 5 質疑応答・アンケート記入・アナウンス
- 6 閉会



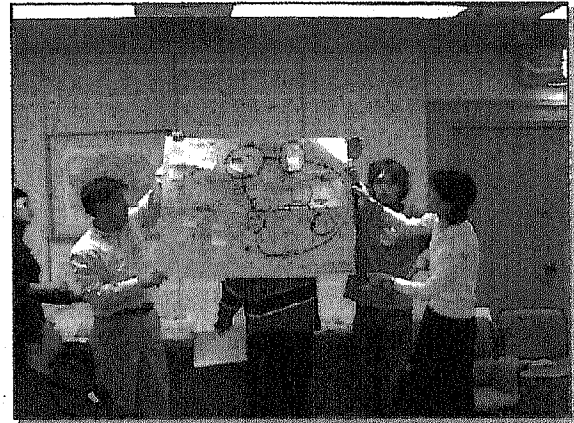
▲ アイスブレイクなんでもバスケット



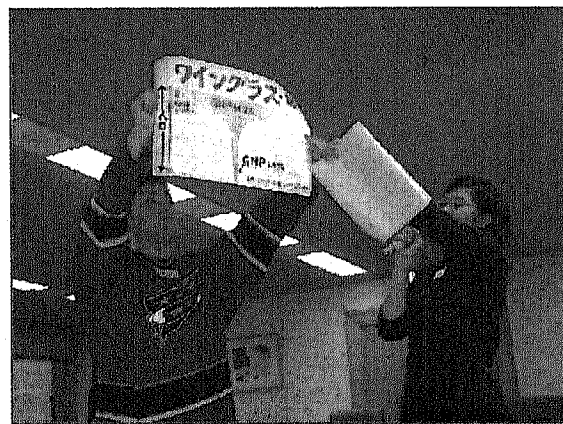
▲ ワークショップ/グループディスカッション



▲ 名刺で自己紹介



▲ ワークショップ/グループ発表



▲ 百人の村世界の富と人口について



▲ ワークショップ/共有①



▲ 世界と地域のワークショップ



▲ ワークショップ/共有②

(2) 岐阜県実践講座の概要

◆ 日時・場所

- 日時：平成16年1月31日（土）13時～16時30分
- 場所：岐阜県県民ふれあい会館 第2棟9階 国際ネットワーク大学コンソーシアム講義室
- 参加者数：47人（講師・スタッフを含む）

◆ テーマ

「 How To 国際理解教育 ～今後の授業に役立てよう！～ 」

◆ 講座のねらい

- 開発教育・国際理解教育に携わる人の裾野を広げる
- 多様な参加者どうしにネットワークを築く機会を与える
- 開発教育指導者研修受講者が新たな人材を育成する立場となる
- 県内の活用できるスキーム（JICA他）を広報する
- 国と国・人と人との「交流」について考えを深めその大切さを共有する

◆ プログラム

★プレセッション

- 0 世界の料理試食会～青年海外協力隊の派遣国料理体験（ふれあい会館第2棟講義室）

★セッション1

- 1 主催者挨拶 興梠 康一郎（JICA中部業務課長）
- 2 アイスブレイキング
- 3 『コーヒーの貿易ゲーム！』 授業ですぐ使えるワークショップを体験
～学年に合わせたアクティビティ、小・中、高校生別にアレンジ～
（ファシリテーター：日下部貴枝、稲川裕子）

★セッション2

- 4 「お知恵拝借、ポートフォリオ*を取り入れた理想の年間計画を作成！」
（ファシリテーター：古田敦子）
- 5 意見交換・ふり返し、アンケート記入
- 6 閉会

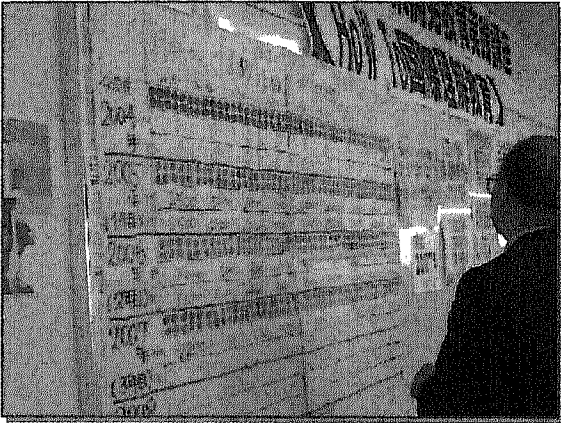
* ポートフォリオ：子どもと教師が共同的に展開する、継続的な学習データの収集・整理であり、学習の多様性に応えるための評価方法



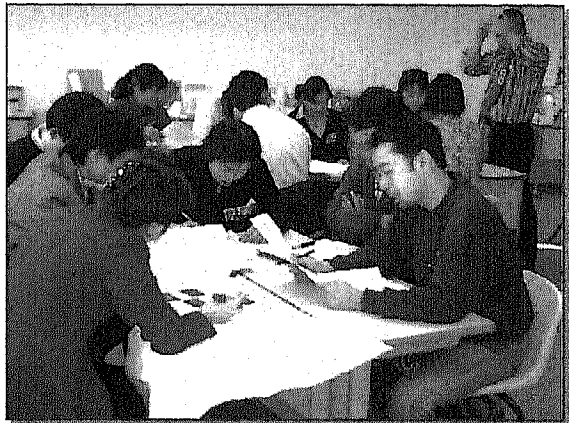
▲ コーヒー貿易ゲームスタート



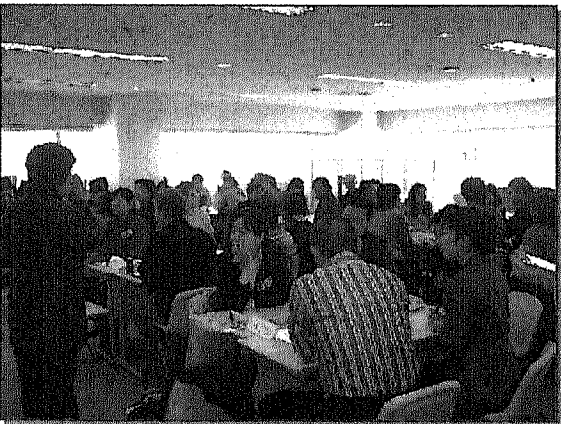
▲ それぞれの実践現場別に席に座って



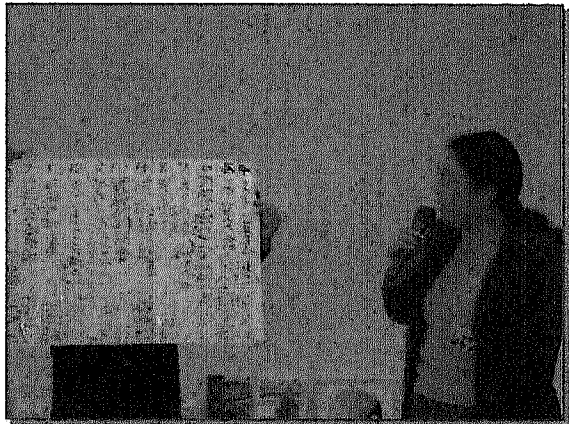
▲ グループごとに収穫高を記録していきます



▲ ポートフォリオを取り入れた理想の年間計画を作成



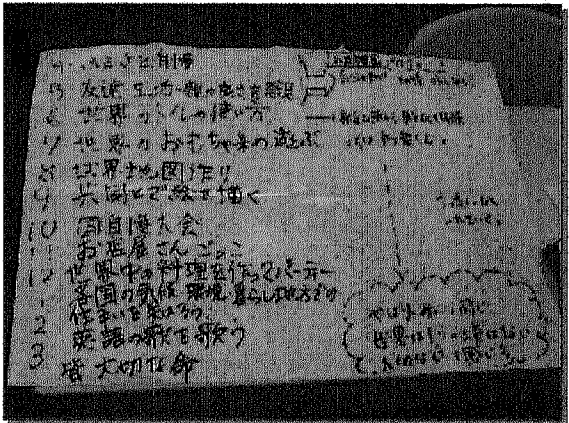
▲ 様々な駆け引きが行われ・・・



▲ グループ発表



▲ ワークショップまとめとふりかえり



▲ 成果物 (例)

(3) 三重県実践講座の概要

◆ 日時・場所

- 日時：平成15年11月15日(土) 13時～16時30分
- 場所：アスト津3階 みえ県民交流センター情報スペース
- 参加者数：44人(講師・スタッフを含む)

◆ テーマ

「国際理解教育はじめての一步 ～実践からヒントを得る。ここから始めてみませんか？」

◆ 講座のねらい

- 教育現場で活用できる国際理解教育の具体的な手法を参加者に提供する
- 国際理解教育の楽しさ、有効性を参加者が実感し、国際理解教育に積極的に取り組んでいくきっかけを提供する
- 参加者同士や参加者・主催者間で情報提供を行い、ネットワークを築く機会を提供する
- 県内の国際理解教育に活用できるスキームとリソース(JICA他)を広報する
- 開発教育指導者研修受講者がファシリテーターをする機会をつくる

◆ プログラム

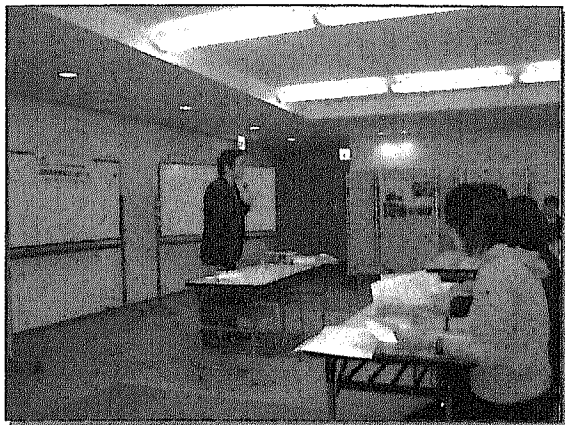
(司会：藤原秀雄)

★セッション1

- 1 主催者挨拶 荻原久義(JICA中部所長)
- 2 誰でもできる国際理解学習～実践紹介とワークショップ体験(神戸小事例)
(ファシリテーター：鷹巣雅英、泉幸恵、田中直絵、藤井由美子)
- 3 神戸小の授業の中で実際にお話を聞いたNGOのワークショップを体験してみよう！
(ファシリテーター：市川恵、松岡亜湖)

★セッション2

- 4 三重県内で活用できる国際理解教育の具材紹介(池田幸代)
～講師派遣制度がある団体や資料の集め方、使える参考文献の紹介
- 5 青年海外協力隊員の講演を体験してみよう！
(講師：田畑由美)
- 6 質疑応答、意見交換、ふりかえり、アンケート記入(藤原秀雄)
- 7 閉会



▲ JICA中部荻原所長“熱い”挨拶



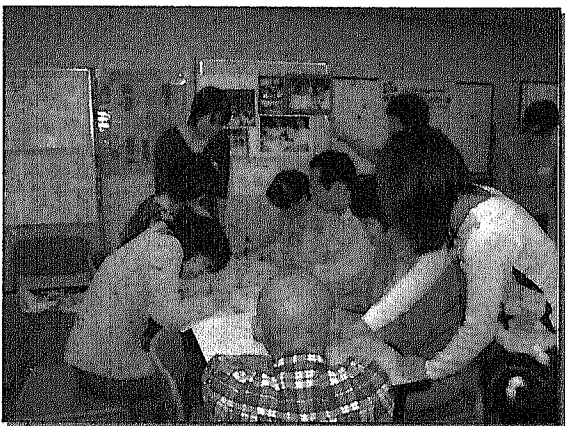
▲ 神戸小「学校へ行きたい！」の発表①



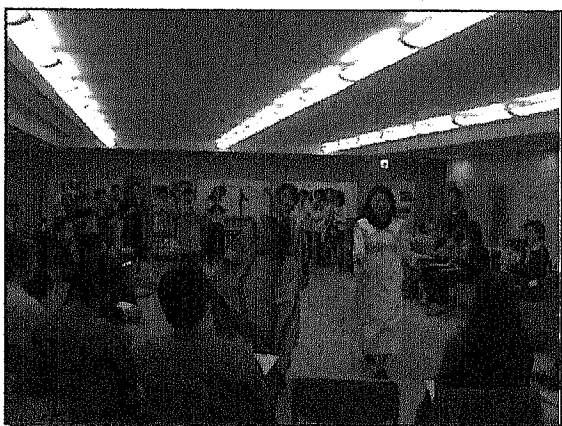
▲ 神戸小「学校へ行きたい！」の発表②



▲ ICAN「パヤタスの子どもたち」体験①



▲ ICAN「パヤタスの子どもたち」体験②



▲ 青年海外協力隊（田畑さん）体験談①



▲ 青年海外協力隊（田畑さん）体験談②



▲ 意見交換会